

ちょっと解説 『武相観音 第一番 観音寺』

簡単な説明を用意しました

つるまさん どうしょういん かのんじ
○鶴間山・東照院・観音寺

- ・宗旨宗派：高野山真言宗
- ・総本山：金剛峯寺

○本尊 十一面観世音菩薩（秘仏）

脇侍 **向かって右** 観世音菩薩
左 勢至菩薩

（本来、観音勢至を脇侍とする本尊は阿弥陀如来であるが、不思議な組み合わせになっている。）

○観音寺の十一面観世音菩薩

- ・本来、十一面観音は正面のお顔の上に冠のように十面の小さなお顔が並ぶが、當山の本尊様はその十面が欠損している。
- ・この十一面観音はその昔、ある鎌倉武士が守り本尊としていたが、瀬谷村中屋敷の高橋家に伝わり、その後、宝暦初年（1751年）當山十

三世 ^{ゆうにん} 宥仁 ^{わじょう} 和尚が靈夢を見て當山の本尊として
請来した。

○観音寺の開創（寺院創設）

- ・ 300年～350年前

本堂前の大銀杏も300年～350年と考えられる。

○観音様のお開扉

- ・ 今回は第23回お開扉。48の札所で観音様をお開扉する。
- ・ 第一回お開扉は264年前の宝暦9年（1759年）

昔々 264年前

スマホも電話も無く

郵便も無い時代に始められた行事

バスも電車も もちろん自転車も無い時代から

脈々と続く巡礼

先人たちは どの様に札所を募ったのだろうか？

人々は どうやって 巡ったのだろうか？

御手糸 ⇔ 善の綱 ⇔ 角塔婆

○御手糸：おていと or みていと

・観音様のお手に繋がる五色の糸



○善の綱：ぜんのつな 別名:御手綱：おてづな

- ・五色の布で 本堂側は御手糸に繋がり、
反対側は 角塔婆に縛り付ける。



○角塔婆：かくとうば 別名:供養塔：くようとう

- ・観音様のお開扉を宣言するとともに世界平和、
人々の豊かな幸せを祈願する塔。
- ・角塔婆は善の綱、御手糸を通して観音様に繋が
っている。
- ・角塔婆に触れることにより、観音様と握手して
縁を結ぶ事を意味する。また、善の綱、御手糸
を通して参拝者の願いを観音様に届けるものと

言われる。

- ・是非、お参りの前と後に角塔婆に触れて観音様のご利益をいただいでください。



この

ちょっと解説 『武相観音 第一番 観音寺』

は

参拝者の皆様のリクエストにお応えして

作成いたしました。

リクエストは

kannonji@jcom.home.ne.jp まで